

これからの介護を担う人のための学び「介護職リーダー育成プログラム」の開発

(開発した訓練の特徴等)

訓練の内容：
 介護のチームリーダーになるために必要な人材育成・ストレスマネジメント・専門知識等を身につけ、同じ立場の人と今抱えている悩みやこれからの介護について話し合い、介護の未来を担うチームリーダーへと育成するプログラム。

訓練の対象となる業種・職種等：
 介護事業所でチームリーダーを目指す方 現在チームリーダーで、もっとスキルアップしたい方
 リームリーダーを任されたけれど、悩みや不安がある方 介護福祉士、看護師、理学療法士、作業療法士など次世代リーダーを目指す方

(受講のメリット)

- ・通信講座はPC・スマホを使って個別学習するため、隙間時間で無理なく学べる。
- ・ワークショップにより、実際に受講生が職場で悩んでいることを、同じ介護職に就く同士と話し合いできる。
- ・人材育成のためのティーチング・コーチングOJT計画が身につく。



(実施した時の環境等)

訓練名 : 「介護職リーダー育成プログラム」
 募集期間 : 令和2年7月20日～9月10日
 募集方法 : チラシ・DMハガキ制作、媒体広告(リビングたかまつ掲載)
 香川県内介護施設訪問、介護施設及び障害者施設DM送付
 チラシ設置(県内ハローワーク等)
 応募人数 : 20人
 受講人数 : 22人
 受講日時 : 令和2年9月15日～令和3年1月14日(4ヵ月間)
 受講時間 : 通学18時間(6時間×3日間) 通信102時間 計120時間
 通学講座は平日9:30～16:30で開催
 社会人受講生のための配慮：
 収録動画によるeラーニングでの知識醸成、クラウドによる資料共有・課題提出

区分18 福祉

(訓練を実施する上で注意する点)

講師スキル:

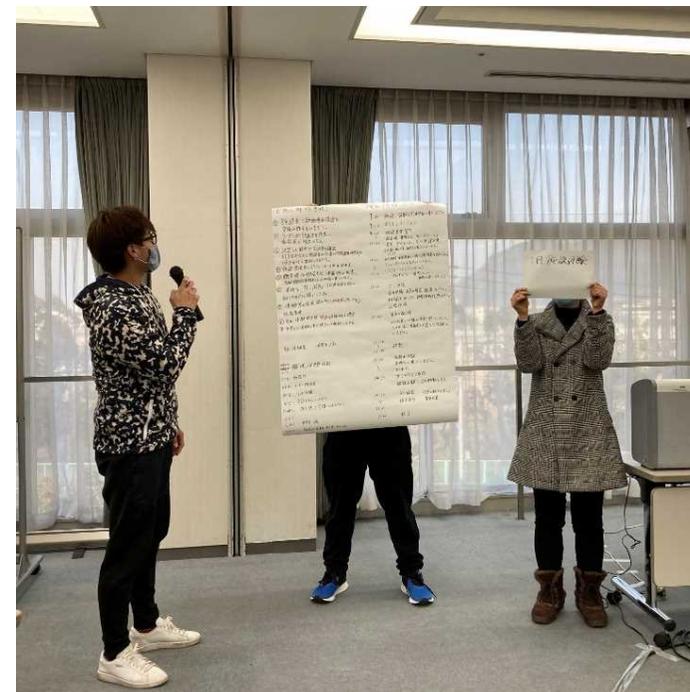
通学講座講師はファシリテーターとしてグループワークを盛り上げ、受講生の気づきを促進する役割を担う。通信講座は介護福祉の専門知識を持つ講師を質問対応者として配置。

通学時間数:

6時間×3日で開催だったが、受講生より「ワークショップをもっとしたかった、知識醸成を通学で学びたかった」という意見があったため、通学日数を増やすことを検討すべき。

介護の魅力発信プロジェクトの開催:

介護の魅力をどう発信するかを通学最終日に開催。介護の魅力を再認識し、受講生自身の離職防止と魅力発信による介護職への参入者を増やす取り組みとして位置づける。



(受講者等からの声)

- ・他施設の方と話をしたり、グループワークを通じて関わることで情報共有でき、色々なやり方を知ることができて勉強になった。
- ・自分だけではなく、周りの方も同じような悩みをもっており、共感しながら他の施設の話も聞けて良かった。
- ・OJT計画が自分の中では1番学べて良かったと思う。各グループで計画し発表した際にもいろいろな考えを聞けて興味深かった。
- ・自分自身でこんなリーダーになりたいという具体的な目標を持つと思った。

(受託事業者) 株式会社穴吹カレッジサービス

(詳細・問い合わせ先)

厚生労働省HP: URL https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaihatsu/program_development_text.html#welfare

厚生労働省人材開発統括官付参事官室(人材開発政策担当)政策企画室事業係 03-5253-1111(内線5648)